

21-01-05

### 3密回避の観光の在り方を検証することを目的に、 中部国際空港を起点とした実証実験に参画します

名古屋鉄道は、PwC コンサルティング合同会社(代表執行役 CEO:大竹伸明)を核とする共同体の一員として、中部国際空港と愛知県内における名鉄グループの観光地・商業地を対象として、中部国際空港を起点とした実証実験に1月8日(金)より参画します。

本実証実験は、経済産業省「令和2年度スマートモビリティチャレンジ」の「先進パイロット地域」に選定された取り組みで、割引クーポン等のインセンティブ付与による利用者の行動変容の効果を分析し、混雑状況に応じて観光客を分散する3密回避の観光の在り方を検証するものです。

詳細は下記の通りです。

#### 記

#### 1. 実施時期

1月8日(金)～2月14日(日)

#### 2. 対象施設

中部国際空港と愛知県内における名鉄グループの観光地・商業地

※名鉄グループの観光地・商業施設

博物館明治村、野外民族博物館リトルワールド、日本モンキーパーク、  
南知多ビーチランド&南知多おもちゃ王国、名鉄グランドホテル、  
名鉄ニューグランドホテル、名鉄イン、名鉄百貨店、μPLAT 金山

#### 3. 実施内容

「遊ぶ」「食べる」「泊まる」など観光客の体験ごとに対象となる観光施設・商業施設を選定し、中部国際空港第1ターミナル国内線到着口で観光客にクーポンを配布した上で、専用アプリにて対象施設に関する情報等を提供し、観光客の移動を促します。

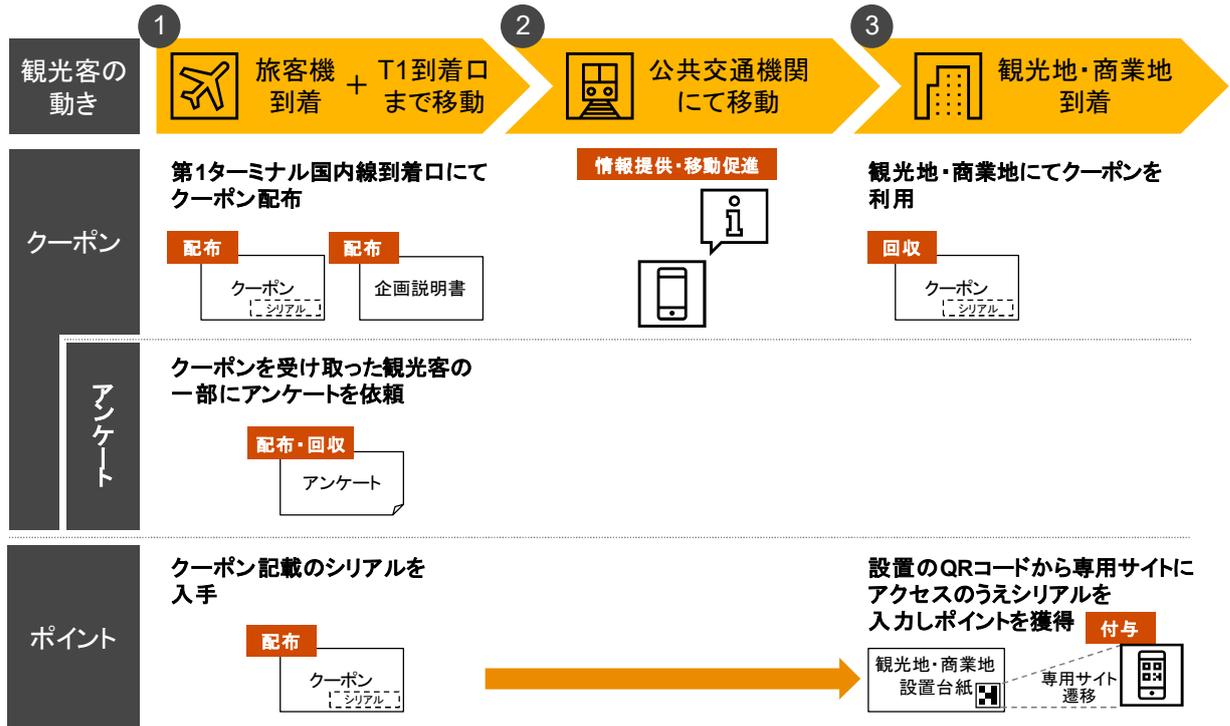
なお、観光客に配布するクーポンは施設ごとに割引率に差を設けたものとし、割引率の異なる施設間で利用客数の増減率の比較や、前年同期の利用客数との比較分析を行ない、インセンティブ付与による観光客の行動変容を検証します。

#### 4. 実証実験のフロー

- (1) 中部国際空港第1ターミナル国内線到着口にてクーポンを配布
- (2) デジタルサイネージ、専用アプリで対象施設に関する情報等を提供し、観光客の移動を促進
- (3) 観光客は対象施設にてクーポンを利用 (一部施設では共通ポイントも提供します)

※共通ポイントは、株式会社NTTドコモのdポイントを活用します。

※天災や、新型コロナウイルスの感染状況などにより、対象施設が閉鎖・営業時間短縮となるなど、クーポン・ポイントの利用対象・条件に変更が生じる可能性があります。



出典:PwC コンサルティング合同会社

#### 5. 各社の役割

会社名	役割
名古屋鉄道株式会社	・クーポンに関する企画・運用
PwC コンサルティング合同会社	・実証実験の企画取りまとめ ・観光客の行動変容に関する各種データの調査・分析、報告書作成など
中部国際空港株式会社	・実証実験地域の提供
株式会社NTTドコモ	・デジタルサイネージ、アプリなどの企画・運用 ・ポイントに関する企画・運用

以上